

# 日本青年心理学会第24回大会のご案内（1号通信）

このたび、日本青年心理学会第24回大会を滋賀大学で開催させていただくことになりました。近畿地区で開催するのは第20回記念大会（武庫川女子大学）以来、4年ぶりとなります。

心理学関係の学会が多く、今年は ICP2016 の年でもありますので、みなさま学会関係の出費も多いかと存じますが、本大会は短い会期ながらも、研究の視点の新たな手がかりを得ていただくコンテンツを複数取り揃えて、参加をお待ちしております。学会の国際化も視野に入れて、ジェームズ・コテ先生のご講演もごさいます。何卒、お誘い合わせてご参加ください。

開催地である滋賀県大津市は、「琵琶湖の近く」ということ以外はあまり知られていませんが、最寄りの JR 石山駅は京都駅から在来線で 14 分、わずか 4 駅という恵まれた中核都市です。琵琶湖だけでなく近隣には石山寺、瀬田の唐橋、近江神宮といった史跡・名所も多く、前泊・後泊で来ていただく方にも魅力の多いところです。会期は師走の声も聞く初冬になりますが、近江米からつくる日本酒も美味しい季節です。どうぞ、さまざまなことを楽しみにお越しください。

大会委員長 若松養亮（滋賀大学）

## I. 会期・会場

(1) 会期：2016 年 11 月 26 日（土）・27 日（日）

(2) 会場：滋賀大学・石山キャンパス 〒520-0862 滋賀県大津市平津 2-5-1

JR 石山駅からバスで 10 分 京阪石坂線 石山寺駅よりバスで 5 分

※自家用車でも来場いただけます。1 日目の夜も駐車したままにできます。

詳細なアクセス方法は滋賀大学ホームページをご覧ください。

[http://www.edu.shiga-u.ac.jp/doc/access\\_2.html](http://www.edu.shiga-u.ac.jp/doc/access_2.html)

## II. 大会内容

### (1) 青年心理学研究法セミナー

立命館大学のサトウタツヤ先生をお招きし、質的研究をいかに生産的なものにし、また量的研究との橋渡しをするか、というテーマについてご講演をいただきます。

### (2) 大会準備委員会企画ラウンドテーブル

「青年期研究 2.0 - 問題意識と研究デザインのブレークスルーとは -」と銘打って、ありきたりではない研究を行うための問題意識の発想と研究デザイン上の工夫をご発表いただきます。中堅としてご活躍の 3 名の先生、岡田努先生、河野荘子先生、平石

賢二先生をお招きしています。

### (3) 大会準備委員会企画講演

アイデンティティ資本の研究で知られているジェームズ・コテ先生をお招きし、「新しい発達段階としての成人形成期 (emerging adulthood) は妥当か」というタイトルでご講演いただきます。提示スライドと日本語要約が付く予定です。

### (4) 研究発表

すべて口頭発表形式で、ショートタイムセッション (45 分)、ロングタイムセッション (90 分) のいずれかを選択できます (いずれも質疑応答の時間を含みます)。なお発表申込件数が多数の場合、ロングタイムセッションの時間を調整させて頂く可能性がありますのでご了承ください。

### (5) 自主シンポジウム

時間は 120 分です。通常の学会で行われるシンポジウムの形式を想定しています。構成や進行の仕方は任意とします。

### (6) 研究委員会企画シンポジウム

研究委員会による共同調査から「現代青年の生活時間」というタイトルでシンポジウムが予定されています。

## Ⅲ.大会スケジュール (予定)

1 日目 [ 11 月 26 日 (土) ]

9:15 ～ 受付

10:00 ～ 12:00 青年心理学研究法セミナー

13:00 ～ 14:40 準備委員会企画ラウンドテーブル

「青年期研究 2.0 – 問題意識と研究デザインのブレーク・スルーとは –」

14:50 ～ 17:00 準備委員会企画講演

「新しい発達課題としての成人形成期 (emerging adulthood) は妥当か」

17:10 ～ 18:15 年次総会

18:30 ～ 20:30 懇親会

2 日目 [ 11 月 27 日 (日) ]

9:00 ～ 受付

9:25 ～ 11:50 個人研究発表 I

12:45 ～ 14:25 研究委員会企画シンポジウム

14:35 ～ 17:00 自主シンポジウム・個人研究発表 II

## IV.大会参加申込

### (1) 大会参加申込方法

研究発表者および自主シンポジウムの企画者の方には、原稿提出時に入金いただきます。その他の方には、大会1ヶ月前を目途に論文集をお送りした際に振替用紙を同封いたしますので、大会までの期間に予約参加申し込みをしてください。参加当日に窓口でお支払いいただくこともできますが、予約参加申し込みをしますと500円安くなります。懇親会の人数把握の都合もございますので、できるだけ予約参加にご協力ください。参加費は、正会員 ¥6,000（当日¥6,500）、学生正会員 ¥4,500（当日¥5,000）です。非会員の方はそれぞれの額にプラス¥1,000となります。※下線部、8月29日に改訂しました。

### (2) 懇親会

大会1日目の11月26日（土）18:30より、懇親会を行います。会場は、滋賀大学生協食堂およびカフェです。当日参加を希望される方は、大会会場の受付にてお申し込みください。なお予約人数との関係で、当日の申し込みを受け付けられないことがあります。できるだけ事前に参加申込と参加費納入をお願いいたします。懇親会参加費は、正会員・非会員¥5,000（当日¥5,500）、学生正会員・学生非会員 ¥4,000（当日¥4,500）です。

## V.研究発表・自主シンポジウムの申し込み

### (1) 申し込み方法

メールのタイトルに、「研究発表申し込み」「自主シンポジウム申し込み」と明記の上、以下の内容を大会準備委員長のE-mailアドレスまでお送りください。

#### 【研究発表】

- ①氏名・所属（連名の場合は全員）
- ②連絡先E-mailアドレス（連名の場合は筆頭者のみ）
- ③発表題目
- ④発表概要（100字程度。プログラム作成や座長依頼の参考にします）
- ⑤ショートセッション、ロングセッションの希望
- ⑥使用希望機材（PCプロジェクターなど）

#### 【自主シンポジウム】

- ①氏名・所属・役割（司会・話題提供・指定討論など）
- ②連絡先E-mailアドレス（企画代表者のみ）
- ③シンポジウム題目
- ④企画主旨（100字程度。プログラム作成の参考にします）
- ⑤使用希望機材（PCプロジェクターなど）

## (2) 申し込みの期限

2016年8月5日（金）（研究発表・自主シンポジウム共通）

## (3) 申し込みに関する要件

研究発表者および自主シンポジウムの企画代表者は①「本学会の会員であること」がまず必要となります。加えて登壇者の方で学会員の方は、②「2016年度の学会年会費を納入していること」が要件となります。

① 発表のための入会申し込みの期限：2016年7月8日（金）

② 年会費の納入期限：2016年8月1日（月）

## VI.今後の予定

### (1) 大会発表論文集の原稿作成

原稿作成要領は、6月末日までに大会ホームページ（下記）に掲載します。

原稿送付期限：2016年9月5日（月）

### (2) 大会発表論文集の発送 2016年10月25日前後を予定しております。

## VII.大会に関する問い合わせ先

日本青年心理学会第24回大会準備委員会 若松<sup>ようすけ</sup>養亮

E-mail: wakamatu@edu.shiga-u.ac.jp

TEL 077-537-7770（できるだけメールでお願いします）

★大会公式サイトに、随時情報を挙げてまいります。QRコード参照。

<http://www.edu.shiga-u.ac.jp/~wakamatu/jsyap/>

